

# 乙女高原が好き！1302号

今年の夏も、ぜひ、すずしい乙女高原で  
観察したり...調査したり...ボランティアしたり...

## 1 多田さんと乙女高原を歩こう

～野に咲く花の不思議と知恵をさぐってみよう～

今年2月の第12回乙女高原フォーラムにお招きした植物生態学者・多田多恵子さんのお話があまりにもおもしろかったので、今度は実際のフィールドで、植物たちの観察を交えてお話していただくことにしました。真夏でも30°を超えることのない乙女高原で、植物たちのオモシロ私生活を楽しく観察しましょう。



日時 7月31日(水) 10時～14時 雨天決行 乙女高原グリーンロッジ前に集合  
定員 30人 申し込み順 参加費 無料(ファンクラブの予算で行事保険に加入します)  
持ち物 飲み物, 筆記用具, べんとう, 雨具 (ルーペ, 図鑑, 多田さんの本など観察用具があれば便利)

## 2 マルハナバチ調べ隊 ～盛夏編～

今年で11年目となるマルハナバチ調査です。マルハナバチの紙芝居でマルハナバチの説明を受けたあと、実際に草原でラインセンサス調査を体験しながら、マルハナバチの見分け方に慣れていただきます。午後からは、一人一人別れて、マルハナバチの待ち伏せ調査をします。毎年、一番多くマルハナバチが観察できるのが、この頃です。



日時 8月4日(日) 10時～14時30分 雨天中止(雨だとハチは活動しません) グリーンロッジ前に集合  
定員 30人 申し込み順 参加費 無料(ファンクラブの予算で行事保険に加入します)  
持ち物 飲み物, 筆記用具, べんとう, 雨具, できれば時計(腕時計可)(ルーペなど観察用具があれば便利)

## 3 遊歩道で使う杭づくり

間伐材を活用して杭を作ります。毎年、参加された方は夢中で木を削ったり、皮を剥がしたりしています。午前中に有志の間伐材の準備をします。午前中から参加してもいいよ...という方、ご連絡をください。危険が伴う作業もありますので、行事保険ではなく森林ボランティア保険に加入します。

日時 8月25日(日) 13時～15時 雨天決行 グリーンロッジ裏に集合  
定員 なし 参加費 無料(ファンクラブの予算で森林ボランティア保険に加入します)  
持ち物 飲み物, ある方は, 軍手, ノコギリ, カマ, ナタなどの道具

## 4 草刈り実験ボランティア～9月刈り取り編

草刈り実験の第2弾です。今回は「9月刈り取り区」と「6・9月の2回刈り取り区」の2区の草を刈り取ります。なお、モニタリングは刈り取りがない月も行っています。

日時 9月1日(日) 10時～12時30分 雨天決行 グリーンロッジ前集合  
定員 なし 参加費 無料(ファンクラブの予算で森林ボランティア保険に加入します)  
持ち物 飲み物, ある方は, 軍手, カマ (お弁当を食べて帰りませんか?)

# 今年のスミレ観察会をふりかえって

乙女高原案内人 依田 昇

今年の、スミレ観察会、すべて無事に終わることが出来ました。参加された皆さん、いかがでしたか？少しはスミレ観察会がお役に立ちましたか。それぞれ3回の観察会では、違ったスミレに出会うことになり感想も違うと思います。今年は、天候の関係かスミレの咲き方も期間等も少し変化がみられました。23年6月10日に撮影されていたアルガスミレの素晴らしい姿が2回目の観察会で見つかり、同定することにしました。またミドリタチツボスミレもその中のソラムキタチツボスミレも見ることが出来ました。仮称になっているので奇形花のようです。

今年、23種になった乙女高原のスミレ、なかなか新しいスミレは見つからないでしょう。これからは、スミレ保護の為に方法は変えても観察会は続けたいと思います。スミレだけでなく、乙女高原総ての動植物をさらに後世に引き継ぐ為にも協力するつもりです。

スミレ観察会には「ふるっねっと」「ミツ峠ネットワーク」「乙女高原ファンクラブ」等、素晴らしい仲間のご協力を得られました。ありがとうございました。乙女高原を愛して下さる多くの皆さま、今年もこれから高原では素晴らしい花々が見られます。多くの皆さまをお待ちいたしております。



ミドリタチツボスミレ。花が上を向いているので、ソラムキタチツボスミレという名でも呼ばれる。

## 第1回スミレ観察会（5月12日）...参加された皆さんの感想

未だ緑色の乏しい草原の何処にスミレが咲いているのか半信半疑でしたが、注意深く見ると、彼方此方に咲いている、その姿に驚かされました。さらに、その小さな小さな花をかがんで見ると、意外に複雑な姿であることに気が付きました。こんなに密やかで可憐な花と、その周りの小宇宙の存在を知ってしまうと、たとえ遊歩道であっても、注意して歩かなくてはならないと思知らされ、自然と人間のつき合い方についても、改めて考えさせられる機会となりました。

井上さんの見つけてくれた最後のスミレ、期待します。サクラスミレが見れてよかった。

今年はいつもの年より花丈も小さめでしたけど、色はあざやかで孫とともに楽しみました。ミヤマ、ヒナスミレ、最高。

今年の花は小さくて、寒さが厳しかったのかと思われました。厳しい環境の中でも花はがんばっているのだなと思いました。

初歩からのスミレ観察となりました。色々な形・色にビックリです。参加回数を重ねていこうと思います。楽しかったです。

神奈川ではスミレの時季も終わりましたが、乙女はこれから。今後の出会いを楽しみにしています。

スミレの種類・見分け方はよく分からないながら、ただ楽しい！観察会でした。ありがとう。

2年ぶりのスミレ観察会に感激。あらためて乙女高原のスミレの種類の高さにびっくり。貴重なフィールドをいつまでも次世代に引き継ぎたいと思います。

小さいながら今年もまたスミレが何種類も芽を出していたが、今までと違って咲き方も小さいが、さらに観察を続けていきたいと思いました。



## 第2回スミレ観察会（5月25日）...参加された皆さんの感想

上向きタチツボスミレで大盛り上がりでした。スミレ観察会では大変お世話になりました。依田先生や会の皆様のおかげで感動の連続の一日でした。本当にありがとうございました。林道の桜が車中からでウワミズザクラカイヌザクラかな～と気になっていました。ウワミズザクラでしたか。高尾と約1ヶ月ほどずれていますね。標高的にもだいぶ違いますから納得です。魅力的な乙女高原に度々足を運びたいと思うものの駅からのアクセスを考えると残念ですが思うようには行きません。また機会があれば是非伺いたいと思います。



ありがとうございました。目的のスミレを見ることができました。シロとアルガ、感激ですね。

乙女高原、初めてでしたが、素晴らしい自然でした。会も上手く運営されているようですね。

いっぱいスミレの花、見れてラッキーでした？

初めて乙女高原を訪ねましたが、たくさんのサクラスミレが見られて感激しました。その他のスミレも時期をずらせば色々見れそうで楽しみです。念願のシロバナサクラスミレも見れたし、予想外のアルガスミレまで。乙女高原、万歳。

初めての参加ですが、快く仲間に入れてくださり、ありがとうございました。サクラの白花。それも大花でした。天気も気持ちよく、とても充実した一日でした。道路も予想以上に良く、安心しました。また来させていただけようと思っています。ありがとうございました。

あらためて観察してみると、サクラスミレが本当に多くてびっくりしました。別の時期に行って、他のスミレにも会いにまた来たいと思います。

ゆっくり森林と草原を歩くことができ、楽しかったです。もう少し少人数で個別の種の解説をしてくださるような観察会があってもいいかなと思いました。

シロバナサクラスミレ、アルガスミレ、貴重なスミレを見せていただいて、ありがとうございました。

サクラスミレ、シロバナサクラスミレ、アルガスミレ、みーんな初めて見ました。とても感動しています。ワチガイソウ、サンリンソウ、オオヤマハコベと、たくさんの花に会えてうれしいです。スタッフの皆様、ありがとうございました。

白黒印刷だと判りづらいが、シロバナ(白花)サクラスミレ。



### 第3回スミレ観察会(6月8日)...参加された皆さんの感想

スミレはおわりになっていたのですが、少し残念でしたが、他の花がいくつか見られたのがよかった。ミドリタチツボスミレが見られて、うれしかったです。

今日も素敵な花に出会えて嬉しかったです。シロバナサクラスミレは見られませんでした。少し時期が違うだけで、違う花が見られるので、乙女高原はやっぱりいいなあ...と思いました。来年はシロバナサクラに会いたいです。

スミレが見れたことにはビックリ。里ではほとんど見れないですね。依田さんのコメントの「スミレがあるから、アルガスミレがある」には、その通りだと！ アルガスミレは見てみたいですね。

スミレ観察会、2回目の参加ですが、なかなか名前も覚えられませんが、少しずつ分かってきたような気がします。皆様の乙女高原への協力がすごいと思います。また、参加させて顶きたいです。

2度目の参加ですが、そのときそのときで新しいスミレが発見できたり、皆さんのいろいろなことを知ってらっしゃるのにおどろきます。また参加させていただきたいです。ありがとうございました。

ひみつのアッコちゃん、超良かったです。

ありがとうございました

## このような団体・企業からご寄付や助成金をいただきました

(株)田丸グリーン基金様より活動参加費をいただきました。これを活用してフィールドガイド『乙女高原のお花たち』を3000部増刷させていただきました。いただくのは今年で連続10年目です。

申請していた助成金交付が決まり、セブンイレブン記念基金様より助成金をいただきました。これを活用して、これまで配信したメールマガジン1号~268号までの記事を編集し、本にします。

山梨市には山梨市乙女高原保護活動事業補助金交付要綱があり、これに基づいて毎年、乙女高原ファンクラブでは補助金申請しています。昨年度も補助金をいただき、遊歩道づくり・草刈りボランティア・乙女高原フォーラムで活用させていただきました。

山梨市観光協会牧丘支部様より寄付金をいただきました。大切に使用させていただきます。

イオングループ黄色いレシートキャンペーンによる寄付金を、イオン石和店様とマックスバリュ・イオン石和店様よりカードの形でいただき、プリンターのインクを購入させていただきました。

申請していた平成24年度共同募金分配金の交付が決まり、山梨市社会福祉協議会様よりいただけることになりました。双眼鏡の購入資金や活動の保険金として活用させていただきます。

山梨技建様より寄付金をいただきました。大切に使用させていただきます。

# 『草刈り時期の違いによる草原植生への影響』実験開始!

～乙女高原でのよりよい草原管理をめざしての調査実験～

麻布大学野生動物学研究室 / 乙女高原ファンクラブ

ニュースレター前号でお知らせした『草刈り実験』を開始しました。

6月16日(日)、空梅雨が続いた後の本当に久しぶりのおしめりでしたが、イベントを企画した立場とすると、やっぱり「いい天気」のほうがよかったです。とはいえ、皆さんの段取りがよく、とてもスムーズに作業が進められ、時間内に終了できました。

前日午後、麻布大学の高槻先生と植原で乙女高原に行きました。調査前の植物の様子を記録しておくためです。方形枠は10m四方ですが、その中にさらに2m四方の枠を取り、その中で、面積を広げながら出現する植物種を記録していきました。普段見慣れていると思っている植物でも、花がなく葉っぱだけ、しかも、小さいとなると、なかなか種類が特定できませんでした。雨に降られましたが、作業は順調に進み、夕方前には終わりました。高槻先生はそのまま柳平の金峰山荘に宿泊されました。

その晩はずっと雨。当日朝もやはり雨でしたが、それでもめげずに集まった麻布大学4人、ファンクラブ4人の計8人(少数精鋭!)で作業をしました。

雨だったので、ロッジをお借りし、室内で始めの会を行いました。そして、いよいよ雨の中に出かけていきました。作業はこのように進めました。

5月の遊歩道づくりのときに杭は打ってありますが、まわりの草丈が大きくなり、目立たなくなってしまったので、園芸用支柱(緑の棒)を挿しました。

刈り取り区については棒にロープを張って、刈り取る場所を明確にしました。

6月区、6・9月区については、宮原さんに機械刈りをしていただきました。

その際、各区中央部分は刈り残してもらい、麻布大学の高槻先生と加古さんとで植物を調べ、いくつかの植物にはタグ(荷札)を付けました。刈り取った後だと植物名が分からなくなってしまうので、刈り取り前にこの作業を行いました。

タグ付けが終わったら、タグが取れないように気をつけながら、手刈りで仕上げの刈り取りをしました。

ススキ選択刈り区については、ススキだけ手刈りしました。

刈った草は集めて、大きくて丈夫な袋に詰め、成城学園生物部の小屋跡まで運びました。

最後にロープをはずして、後始末をしました。

今後の調査でどんな結果が出るのか、楽しみです。前日からこの調査実験に関わってくださった高槻先生はじめ麻布大学野生動物学研究室の皆さんに感謝申し上げます。

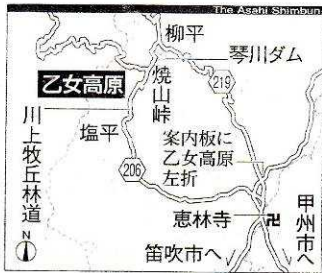


モニタリング予定  
7月14日(日)、  
8月11日(日)、  
9月1日(日)  
10月6日(日)  
  
9月1日はモニタリングと  
今回のような刈取作業。





2013.6.14 朝日

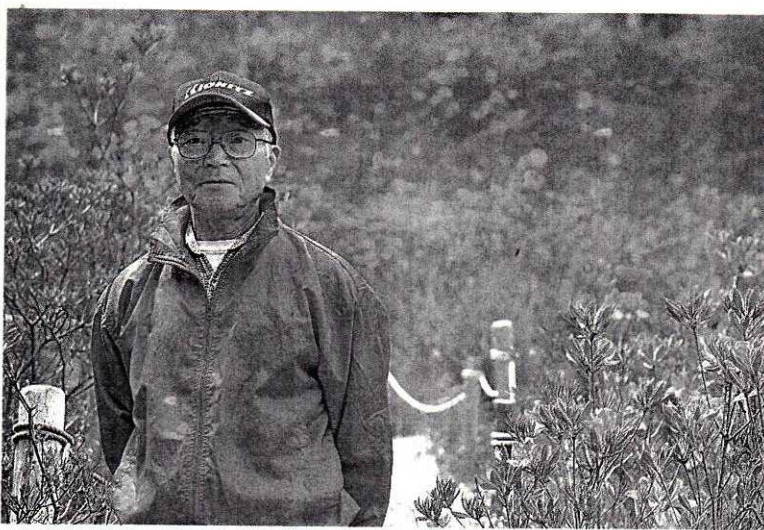


今日10日、山梨市牧丘町北原の乙女高原へ、カーブの多い川上牧丘林道を車で向かった。空梅雨ながら緑がまぶしい。高度が上がると、焼山峠のレンゲツツジの群落が出迎えてくれる。「随分咲いてるねえ。花が多い年も少ない年もあるが、毎年ずっと咲き続けてほしい」。隣の宮原孝男さん(74)がつぶやいた。

同じレンゲツツジでも、赤に近いもの、オレンジが鮮やかなもの、少しくすんだもの、様々ある。焼山峠から分かれた乙女高原への道沿いの群落は、七、八分咲きだ。

さらに数分走って乙女高原

## この風景後世に伝える活動



レンゲツツジの最大の群落を背に「ここはこれからかな」と話す宮原孝男さん=10日、山梨市牧丘町の乙女高原

### 「レンゲツツジ」毎年ずっと咲き続けて

の駐車場へ。一番大きな群落に向かって遊歩道を宮原さんがすいすい歩く。遊歩道は宮原さんが代表世話人を務める乙女高原ファンクラブが整備している。クラブはほかにも草原を保つための毎年の草刈りや、マルハナバチやスミレの観察会も開いている。

高原では日陰となると、つぼみだけの群落もあるが、三分、五分咲きの場所もある。高度の違う場所にレンゲツツジの群落が散在し、月末に向

の駐車場へ。一番大きな群落に向かって遊歩道を宮原さんがすいすい歩く。遊歩道は宮原さんが代表世話人を務める乙女高原ファンクラブが整備している。クラブはほかにも草原を保つための毎年の草刈りや、マルハナバチやスミレの観察会も開いている。

高原では日陰となると、つぼみだけの群落もあるが、三分、五分咲きの場所もある。高度の違う場所にレンゲツツジの群落が散在し、月末に向

け、どこかが満開というのも魅力の一つだ。

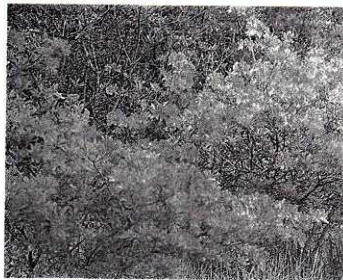
又 又

秩父など、ほとんど登った。いつも単独行。野営できるような道具を持っていった。ひとりだからこそ食料を十分に持ち、「引き返す勇氣」をいつも意識した。クマやイノシシに何度も遭ったが、神経を研ぎ澄ませて、先に自分が見つけ、事故を未然に防いだ。

春の芽吹き、6月のレンゲツツジ、夏の濃い緑、秋の紅葉、冬枯れ。どれもすばらしい。この自然を後世に伝えようと、クラブの活動に参加してきた。もう一人の代表世話人である植原彰さん(51)はシカの食害調査など、様々な新しい取り組みを始め、宮原さんは草刈りの指導や遊歩道の杭づくりを精を出し、役割分担する。

又 又

長男と長女が、それぞれ孫を連れ、月に1度来るのが楽しみだ。孫と一緒に高原に行き、食べられる植物や、カッ



乙女高原への分岐には、ほぼ満開のレンゲツツジも 山梨市牧丘町の焼山峠

■最新開花情報  
 北杜市大泉町西井出 案内所 (0551・48・4436)  
 甲州市勝沼町等々力 庭園 (0553・44・3715)  
 八木崎公園と大石公園の早咲きが見ごろ 富士河口湖町 町観光課 (0555・72・3168)  
 菜の花の仲間ノキカラシが見ごろ 山中湖村山中 公園 (0555・62・5587)

「何も言わなかったけど、都会のネオンが、山の星の光になって心細かったんじゃないかな」

植原さんの宮原さん評。「自然の様々な知識を体験から得ている。人や自然に優しい気持ちを持っています。おられる」。その優しい気持ちがきくと、一枝さんを、そしてクラブの仲間や草原を支えてきたのだ。(度辺嘉三)



# 乙女高原ファンクラブの事務局だよ

乙女高原案内人としても活躍して下さった故杉田幸子さんの絵画展(童画展)が開催されています。ぜひ足をお運びください。詳細は同封のちらしを。

イオン環境財団主催『第3回生物多様性日本アワード』に応募したところ、一次選考を突破し、最終選考の対象候補に選定された旨、連絡がありました。

フィールドガイド『乙女高原のお花たち』第3版が刷り上がりました。ご希望の方は事務局までご連絡ください。



乙女高原ファンクラブ

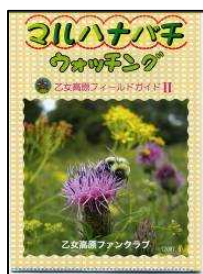
## 乙女高原ファンクラブの刊行物

乙女高原インタープリテーションのテキスト『乙女高原案内人 誕生と成長の記録』

(A4判 186ページ)乙女高原案内人養成講座の中身と、その後の案内人の活動の様子を一冊の本にしました。希望者には実費でお分けします。1冊 1,000円、送料は一冊につき 80円。欲しい方は郵便振込で1冊につき 1,080円を送金してください。

## 乙女高原フィールドガイド シリーズ

欲しい方は事務局までご連絡ください。



フィールドガイド 『スマイルの観察のおともに  
『乙女高原のスマイル・ウォッチング』

(A3判両面カラー)乙女高原では、なんと18種類ものスマイルを観察できます。このフィールドガイドでは乙女で見られるスマイルたちのプロフィールを紹介するとともに、スマイル観察のポイントをていねいに解説しました。

フィールドガイド 『マルハナバチの観察と調査のおともに『マルハナバチ ウォッチング』

(A3判両面カラー)マルハナバチの生態、ファンクラブで行っている調査、乙女高原で見られる6種(+2種)のマルハナバチの見分け方をコンパクトにまとめました。

フィールドガイド 『春から夏にかけて咲く草花のガイド『乙女高原のお花たち』

(A3判両面カラー)乙女高原フィールドガイドの第1号。春から秋にかけて咲く47種類の草花を写真つきでコンパクトに紹介。草丈の表示や草花を一言で表したコメントが「分かりやすい」と評判です。2013年6月に第3版発行。

## 乙女高原ファンクラブの普通会員になりませんか？

乙女高原ファンクラブの会員には普通会員とサポーター会員の2種類があります。会報(ニュースレター)は年4回発行予定です。年に1度は全会員に送っていますが(この号がそうです)、あとの3号は普通会員にしか送っていません。

### 乙女高原ファンクラブに入会するには・・・

- ・「入会します 氏名・郵便番号・住所・電話番号」という内容のファックス、メール、手紙等を事務局までお届けいただければ、いつでも、だれでも会員になれます。
- ・入会金も年会費もありません。乙女高原を守る力が1人分、大きくなります。
- ・普通会員には年4回、サポーター会員には年1回、ニュースレターが届きます。
- ・普通会員には総会出席の義務がありますが(委任状可)、サポーター会員にはありません。

## 乙女高原ファンクラブへの連絡先

【事務局】植原 彰(方) 〒404-0013 山梨県山梨市牧丘町窪平 1110-3  
TEL/FAX 0553-35-3682 電子メール otomefc@fruits.jp  
会報への原稿や写真等の投稿もこちらにお送りください。  
WEB <http://fruits.jp/~otomefc/>

郵便振込 (番号) 00220-8-71093 (加入者名) 乙女高原ファンクラブ